

リニア駅周辺 環境・景観配慮指針（案）たたき台について

1 趣旨

「リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン（案）（以下『リニアビジョン』という）」における、駅周辺及びその近郊における景観のあり方として、「リニア駅周辺 環境・景観配慮指針（案）たたき台」としてまとめたので、関係する地域の方を含め広く市民に公表するとともに、皆様から意見をお聴きしながら策定いたします。

このたたき台を公表する目的として、これまでの経過を踏まえ、リニア駅周辺の良好な景観の保全と適正な開発の誘導の両方の視点から、この指針をガイドラインとしてリニア駅周辺での建替え等への配慮を誘導するために、事業者の方々も含め周知をしていきます。

2 これまでの経過

(1) リニア駅周辺整備基本計画（平成29年6月策定）

リニア駅周辺整備検討会議において、4つのテーマ別の部会の一つである「環境・景観部会」が設置され、検討結果として「環境・景観配慮のあり方」を基本とし、リニア駅周辺整備区域とその近郊に関する整備方針として、「環境・景観配慮指針」を策定し、この指針に沿って今後整備を進めることといたしました。また、リニア駅周辺の地域については、平成30年度に座光寺及び上郷地区の皆様との協議を経て地区計画を決定し、これまで運用しております。

(2) リニアビジョン（令和4年2月公表、令和5年3月改訂）

リニア開通後における飯田市のこれからのまちづくりの方向性として、「信州・伊那谷らしい風景を活かし、都市と自然が調和した良好な景観の育成」を目指しています。リニアビジョンの実現に向け、リニア駅周辺整備区域内に視点場を選定し、視点場からの眺望の検証と駅前広場の建築物等の形態意匠基準（デザインコード）を基に、駅周辺・その近郊における「景観のあり方」の検討を行い、「環境・景観配慮指針（案）」の策定の考え方を令和5年12月に市議会全員協議会において公表いたしました。

3 「リニア駅周辺 環境・景観配慮指針（案）たたき台」について

資料No.6-2のとおり

4 今後の取り組み

景観の保全と適正な開発の誘導を目指し、必要に応じて現行の景観計画や地区計画等の見直しを行う。